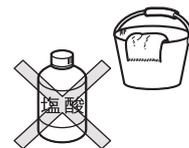


この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。未永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき正しい施工をお願いします。なお、商品到着後は、すみやかに検品をお願いいたします。本体に傷、付属品の不備などがございましたら、商品到着後10日以内にご連絡ください。

⚠ 施工上のご注意

- 商品に傷をつけないようご注意ください。
(傷は腐食の原因となりますのでタッチアップ塗料等で必ず補修を行ってください。)
- 傷などの補修方法はお問い合わせください。
- 製品の水平・垂直に注意して施工を行ってください。
- 取付場所が通行のさまたげにならないか、十分に確認してください。
- 腐食の原因となりますので、本体を塩酸などの酸類で洗わないでください。
又、リシン等の塗料がかからないようにしてください。
- 商品の施工に関しては必ず「施工要領書」に従ってください。
- むやみに改造・変更をしないでください。
- 施工後、ボルトおよびねじ類にゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所などないか点検してください。
- コンクリートモルタルの養生期間は十分(4日以上)とり、養生期間中は重い物を乗せた見振動させたりしない様注意してください。
- 基礎は当社指示寸法以上にしてください。



作業は必ず二人以上で行ってください

No.	同梱部品	数量					
		両開き	親子	片開き	両開き (電気錠)	親子 (電気錠)	片開き (電気錠)
1	門柱(吊元)	2本	2本	1本	1本	1本	—
2	門柱(錠受け)	—	—	1本	—	—	1本
3	門柱(吊元電気錠)	—	—	—	1本	1本	1本
4	門扉(錠側)	1セット	1セット	1セット	—	—	—
5	門扉(受け側)	1セット	1セット	—	—	—	—
6	門扉(錠側電気錠)	—	—	—	1セット	1セット	1セット
7	門扉(受け側電気錠)	—	—	—	1セット	1セット	—
8	レバーハンドル	2セット	1セット	1セット	2セット	1セット	1セット
9	上部戸当り	2セット	2セット	1セット	2セット	2セット	1セット
10	ターンナット(M6)	4コ	4コ	2コ	4コ	4コ	2コ
11	六角ボルト(M6×30)	4コ	4コ	2コ	4コ	4コ	2コ
12	平座金(6)	4コ	4コ	2コ	4コ	4コ	2コ
13	バネ座金(6)	4コ	4コ	2コ	4コ	4コ	2コ
14	スペーサー1mm	12コ	12コ	6コ	12コ	12コ	6コ
15	通電金具TEKプレート	—	—	—	1コ	1コ	1コ
16	皿小ねじ(M4×20)	—	—	—	2コ	2コ	2コ
17	寸切りボルト(M8×200)	2コ	2コ	1コ	2コ	2コ	1コ
18	六角ナット(M8)	4コ	4コ	2コ	4コ	4コ	2コ
19	タッチアップ塗装	1コ	1コ	1コ	1コ	1コ	1コ
20	施工要領書	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚
電気錠接続用2線アダプター※		—	—	—	1コ	1コ	1コ

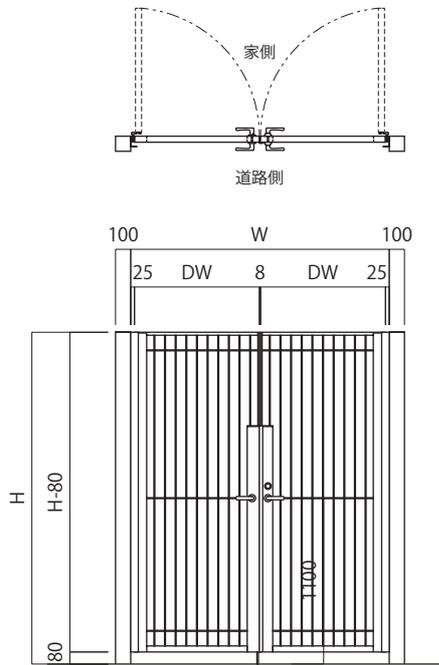
■オプション

No.	サムターンカバー	数量
1	サムターンカバー本体	1コ
2	サムターンカバー蓋	1コ
3	スペーサー	1コ
4	十字穴付スリムヘッド小ねじ(M4×50)	1コ
5	六角穴付極低頭ボルト(M3×6)	1コ

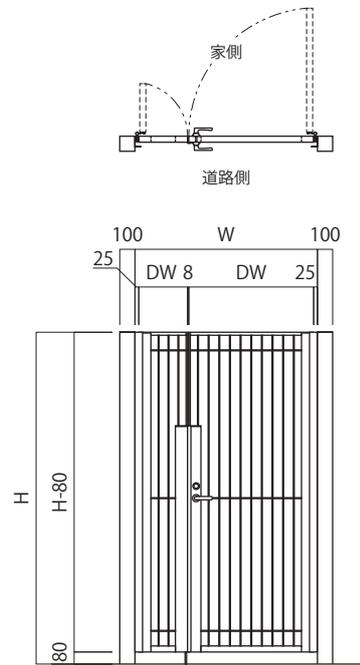
※電気錠システムがパナソニック製の場合のみ使用

■納まり図(内開き)

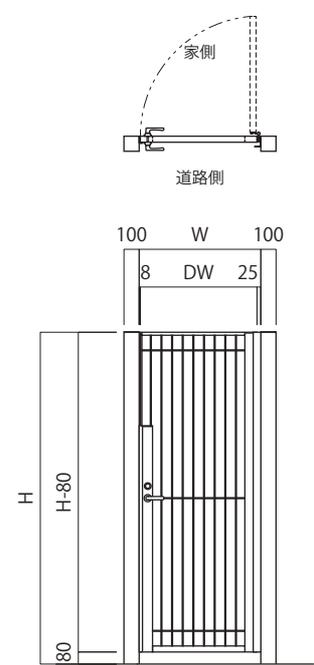
両開き



親子

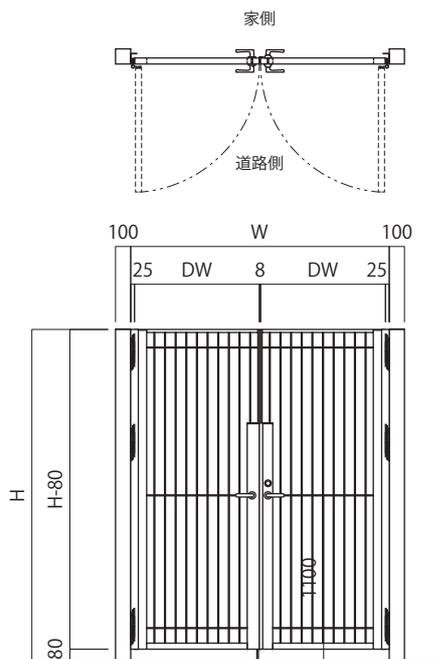


片開き

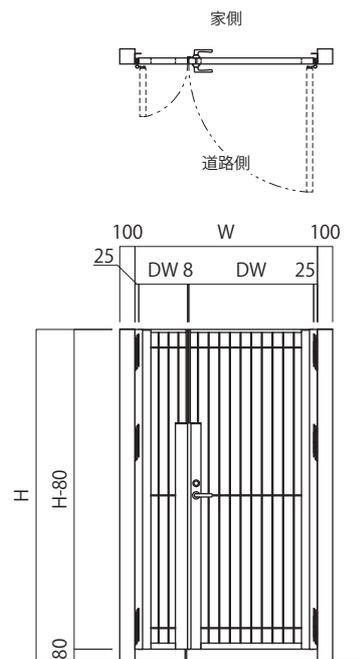


■納まり図(外開き)

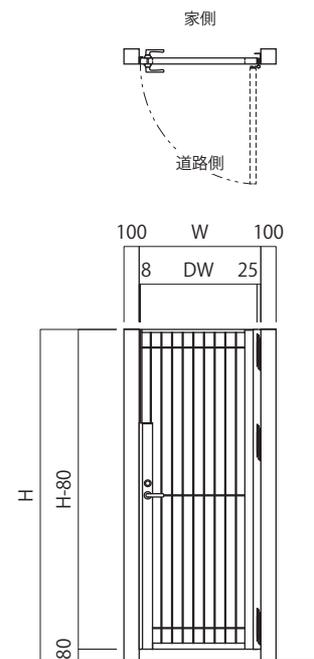
両開き



親子

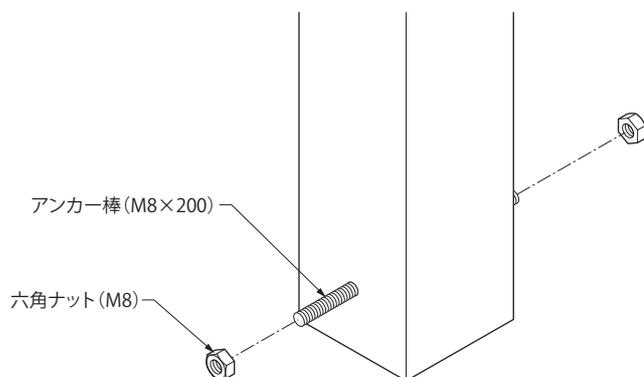


片開き



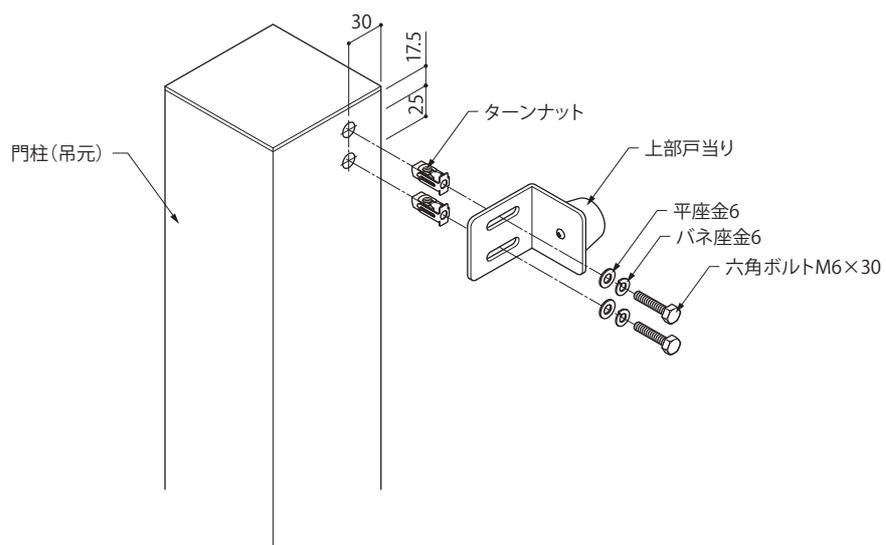
■アンカーの取付

アンカー棒 (M8×200) を門柱下部に挿入し、六角ナット (M8) で固定してください。



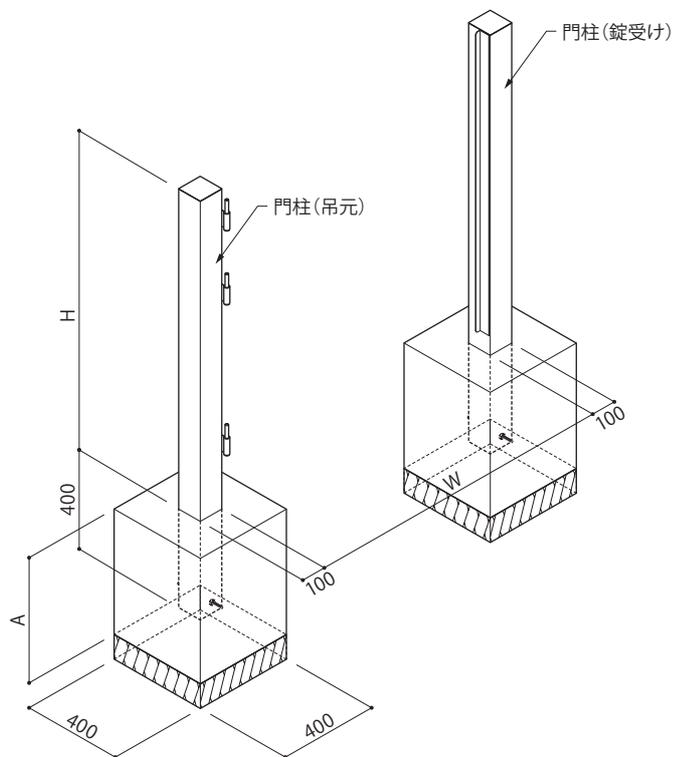
■上部戸当りの取付

上部戸当りを取り付けてください。



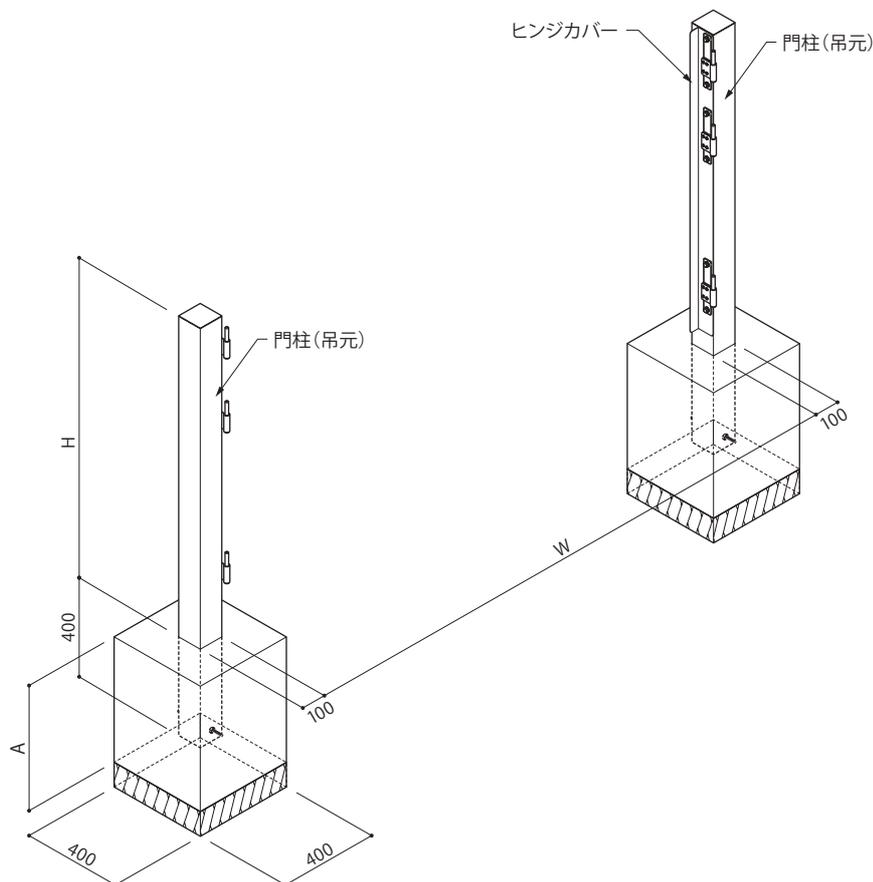
■門柱の施工

片開き



H	A
1800	600
2000	700
2200	700

両開き・親子

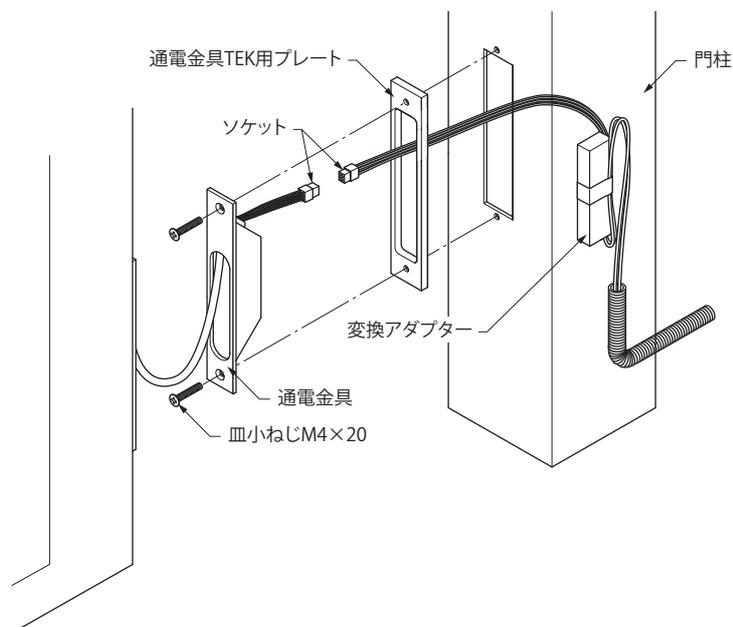


電気錠の場合

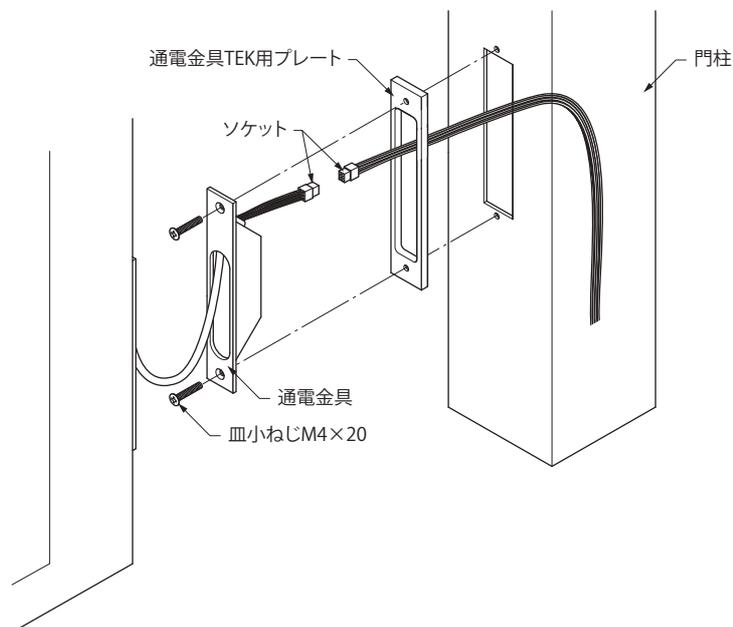
■通電金具の取付

- ①門扉側の通電金具のソケットと門柱側のソケットを結合してください。
- ②皿小ねじM4×20で、通電金具TEK用プレートをハサミコミ固定してください。

【パナソニック製電気錠操作盤システムの場合】

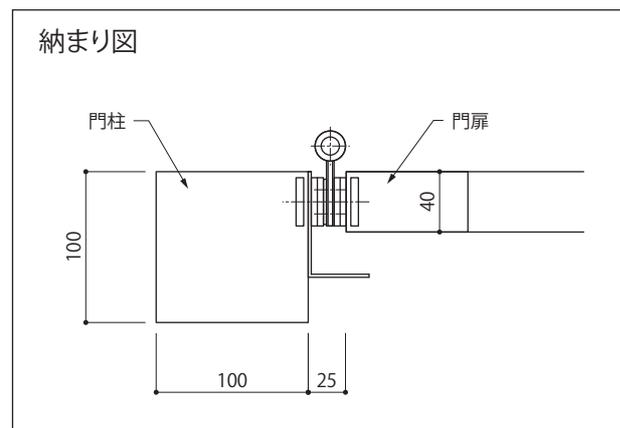
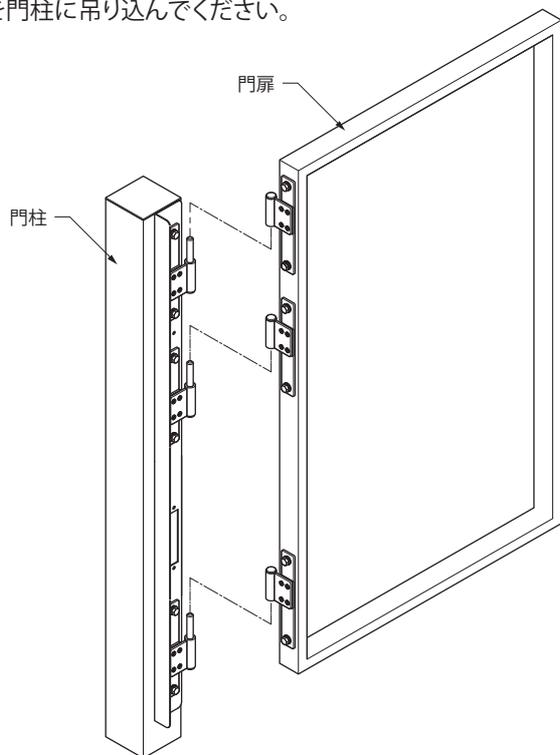


【美和ロック製電気錠操作盤システムの場合】



■門扉の吊り込み

門扉を門柱に吊り込んでください。



■間口調整

※間口調整スペーサーは、ヒンジ1箇所につき2コ(1mm厚)同梱されています。

①門扉を門柱から取りはずしてください。

②スペーサーで間口幅を調整してください。

間口幅が狭い場合：門柱のヒンジ(下)の皿小ねじをはずし、スペーサーを調整してください。

1mm調整→取付済みのスペーサー(2mm厚)を同梱のスペーサー(1mm厚)に交換

2mm調整→取付済みのスペーサー(2mm厚)を取りはずす

間口幅が広い場合：門扉のヒンジ(上)の皿小ねじをはずし、スペーサーを調整してください。

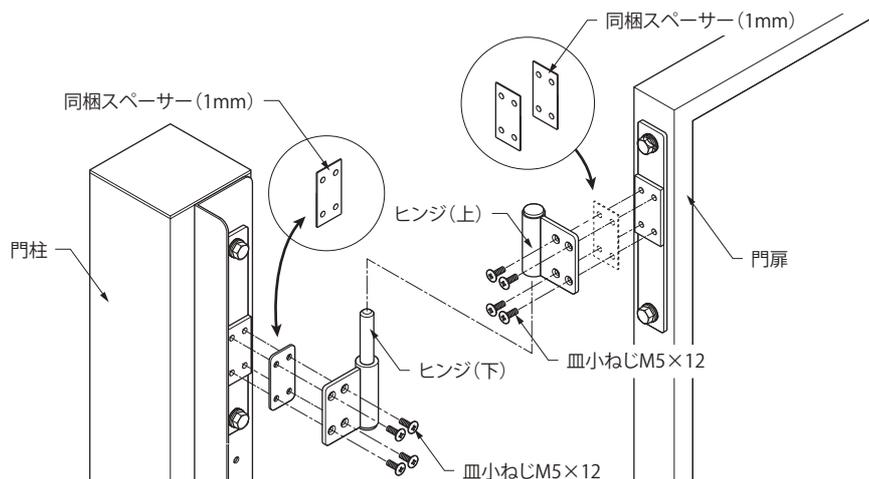
1mm調整→同梱のスペーサー(1mm厚)を1枚入れる

2mm調整→同梱のスペーサー(1mm厚)を2枚入れる

③門扉を門柱に吊り込んでください。

注)調整は2mmまでです。2mm以上はねじの長さが足りません。

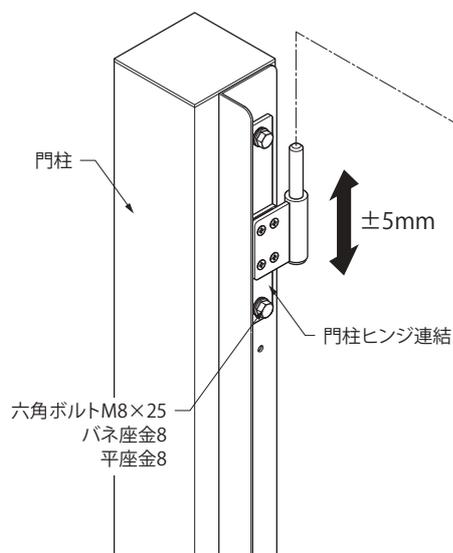
※すべてのヒンジを同様に調整してください。



■門扉の高さ調整

門柱ヒンジ連結の六角ボルトを緩め、上下移動で高さ調整をしてください(±5mm調整可)。

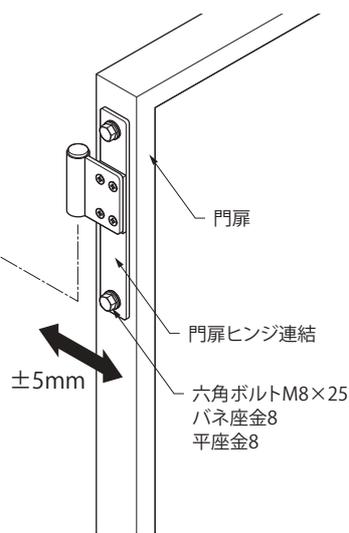
※すべてのヒンジを同様に調整してください。



■門扉の奥行き調整

門扉ヒンジ連結の六角ボルトを緩め、前後移動で奥行き調整をしてください(±5mm調整可)。

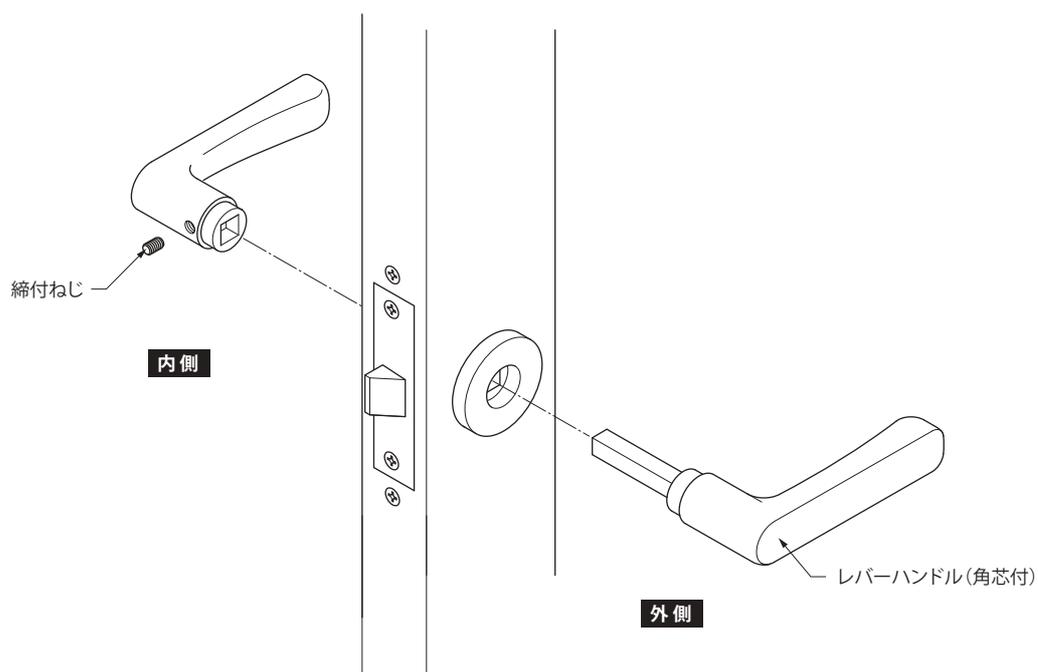
※すべてのヒンジを同様に調整してください。



■レバーハンドルの取付

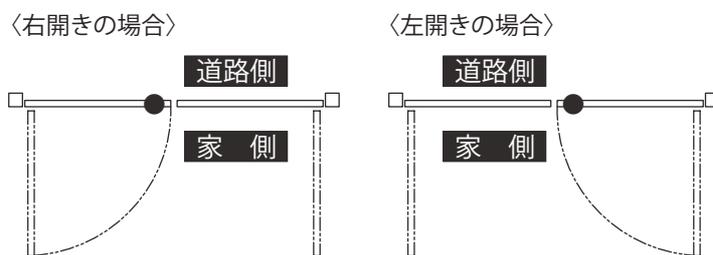
レバーハンドルを取り付けてください。

扉外側より角芯付ハンドルを差し込み、締付ねじで締め付けてください。

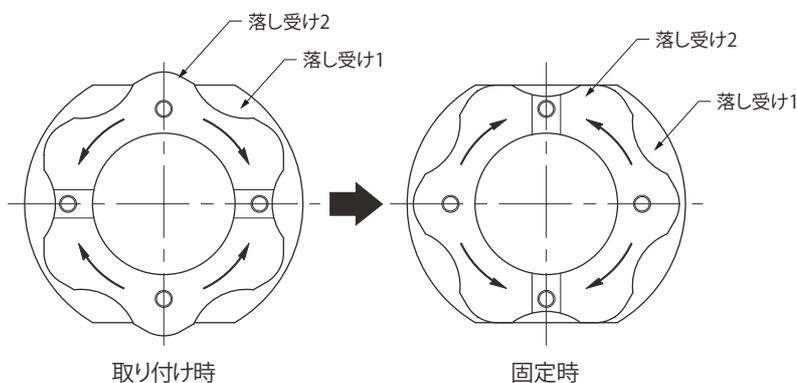
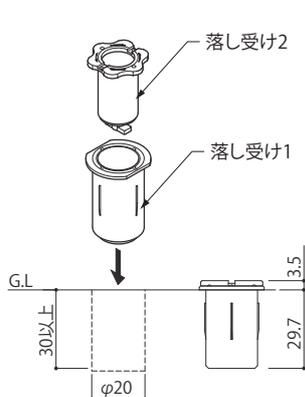


■ 落とし受けの埋め込み

落とし受けは、門扉の開き勝手に応じて、
図の●位置に埋め込んでください。



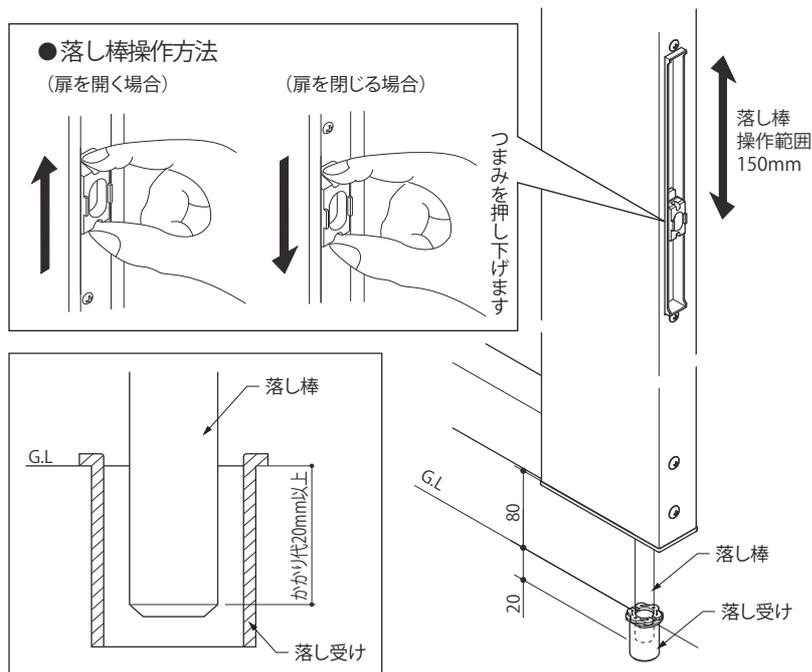
- ①吊り込み調整後、落とし棒が落とし受けにきちんと納まる位置に、落とし受け取り付け用の穴(φ20、深さ30mm以上)をあけてください。
注)穴が小さいと落とし受け2が出し入れしにくくなりますので、指定φ20で穴をあけてください。
- ②落とし受け1から落とし受け2を取りはずし、落とし受け1のみを地面へ取り付けてください。
- ③落とし受け2を落とし受け1へ取り付けてください。



■ 落とし棒のかかり代の確認

注) 落とし棒を一番下まで下げたかかり代を確認してください。
かかり代が浅いと商品破損のおそれがあります。

- ①本図の操作方を参考にして、落とし棒を落とし受けに差し込んでください。
- ②かかり代が20mm以上確保されていることを確認してください。



オプション

■サムターンカバーの取付

門扉の錠側框にサムターンカバーを取り付けてください。

